



あいづぼんげ 議会だより

213号

令和6年4月25日発行
福島県会津坂下町議会

目次 -CONTENTS-

議員紹介	2
令和6年度予算 一般質問(9人が登壇)	8
みんなのひろば・編集後記	13
	20

議員を紹介します!

3月24日の町議会議員選挙を経て、新たなメンバーによる会津坂下町議会の活動が始まりました。

14名の内訳は、新人2名、現職11名、元職1名です。

これから4年間、議会の目標や、住民の代表として各自が掲げた目標の達成に向けて積極的に活動を展開していきます。

議席番号
4

ものえ まさひろ
物江 政博



(3期)

「区長・自治会長の担い手不足に歯止め、地域ベントの活性化、各地区のコミュニケーションの充実、災害時の迅速な対応」これら4つの課題を解決します。

議席番号
1

たかく としあき
高久 敏明



(1期)

「ばんげに住んでよかったと実感できる町へ」皆さんと協力して未来へ希望の持てるまちづくりに全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

議席番号
5

よこやま ちよ
横山 智代



(3期)

町民の皆さんの声を町政に届け、その声を活かされる町政となるよう、取り組んで参ります。

議席番号
2

いがらし たかこ
五十嵐 孝子



(1期)

町民の皆さまの付託に応え、しっかり働いてまいります。五十嵐たかこを温かく見守り、時に叱咤し激励しながら育ててください。よろしくお願いいたします。

議席番号
6

おばた ひろし
小畑 博司



(4期)

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、力強く活動して参ります。

議席番号
3

めぐろ かつひろ
目黒 克博



(2期)

1期目の4年間に感謝いたします。
2期目にあたり皆さまの声にしっかりと対応し、子育て・高齢者の支援・障がい福祉の充実化、そして「災害に強いまちづくり」に取り組みます。

平均年齢 **63.07** 歳

最年少は **33** 歳、最年長は **83** 歳です。
前回改選時の平均年齢は 61 歳でした。

○平均当選回数 3.36 回

○議員報酬 (月額)

議長 29万9千円 副議長 24万2千円
委員長 22万7千円 議員 22万1千円

議席番号

11

みずの こういち
水野 孝一

(8期)



財政の健全化を図りながら、老朽化した庁舎の早期建設を目指します。

商工業の活性化、農業の振興対策、若者の定住を促進して参ります。

議席番号

7

さとう そうた
佐藤 宗太

(4期)



身近な政治の窓口として真摯に聴き真摯に実行して参ります。

ばんげの農業、産業振興から福祉向上や教育の充実への好循環を描いてまいります。

議席番号

12

さかい いくこ
酒井 育子

(8期)



健全な財源確保で安心して子どもを産み育てられる認可保育所整備や障がい児支援、福祉の充実した町に深化に進化を重ね、誇れるまちづくりに頑張っ参ります。

議席番号

8

いがらし まさやす
五十嵐 正康

(4期)



4年ぶりの議員復帰です。
初心を忘れず、全ての問題に真摯に取り組み、坂下町の未来を皆さんと共に作り上げていけるよう全力で活動して参ります。

議席番号

13

やまぐち すずむ
山口 享

(4期)



町長は町の代表であります、議員は町民の代表です。

最終意思決定機関として、町民の意見を聴き、町政に反映させていきます。

議席番号

9

あおき みきこ
青木 美貴子

(4期)



町政及び生活に対し要望や意見が多々あると思います。行政や議会だけでは解決できない事がほとんどです。共に解決への道しるべを探していきましょう。

議席番号

14

あかぎ だいち
赤城 大地

(3期)



ひとりの父親として、子ども達に笑顔の子ども時代を用意してあげたい。そのための町の制度を整えたい。議会の一員として責任を果たしていきます。

議席番号

10

いがらし かずお
五十嵐 一夫

(7期)



活動している姿勢を具体的に示し、町民の皆様にとって「わかりやすく」「みえる」ように、議員としての務めを果たすよう行動します。

新体制決まる

会津坂下町議会は、改選後初となる第2回臨時会を4月5日に開催し、議長・副議長を選出しました。また、その他委員会構成など、今後議会を運営していく体制が決まりました。



議長



あかぎ だいち
赤城 大地

議会を代表する重要な地位にあり、議会の秩序の保持や議事の整理、議会の事務処理をします。

副議長



やまぐち すすむ
山口 亨

議長を補佐し、議長が不在の時などにその責務を代わりに行います。

就任のご挨拶

去る4月5日に開催された臨時議会において、議長および副議長に選任されました。責任の重さに身の引き締まる思いであると同時に、町民福祉の向上のため、正すべきところはしっかりと正してまいり所存です。議会は決してトップダウンの「組織」ではありません。14人の議員が対等の立場で議論しあう「会議体」です。14人の議員はそれぞれに想いを持ち、町民の皆様からの付託に応えるため全身全霊で職務に就いております。

その14人それぞれの考えを活かす議会運営に努めてまいります。また、新庁舎建設をめぐる議論においては、町民の皆様との間に齟齬が生じ、議会の不信感を招いてしまったことは紛れもない事実と認識いたしております。

今後は、新庁舎建設を始め、町政における多くの課題を町民の皆様と共有し、多くの皆様の声を議会に届けられるよう、議会の信頼回復と併せて全力で取り組んでまいります。

議員控室の入り口には二本松藩に伝わる「戒石銘」の拓本が飾っております。

ななし

爾の俸

ななし 爾の禄は

民の膏 民の脂なり

下民は虐げ易きも

上天は欺き難し

「お前たちがいたたく俸給は、民の汗と脂の結晶である。民を虐げることがはたやすいことかもしれないが、神を欺くことはできない。お前たちは民に感謝し生きなければならぬ。」

との意味の言葉ですが、議員は議員控室から出て議場に向かう際、この言葉を必ず目にします。二本松商工会議所ではこれを首相官邸に送ったそうです。

私達14人は自らを律し、町民の皆様とともにある議会を目指し、議員全員がそれぞれに町民の皆様への信頼に添えてまいり所存でございますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

議長 赤城 大地
副議長 山口 亨

議会新体制

総務産業建設常任委員会 (7人)

町全体の計画や防災、税金や農業、商工業、道路や水道に関することなどを審査・審議します。



副委員長
目黒 克博



委員長
高久 敏明



佐藤 宗太



横山 智代



赤城 大地



水野 孝一



五十嵐 正康

文教厚生常任委員会 (7人)

学校教育や生涯学習、子育て・障がい者、高齢福祉、健康やごみ問題などに関することなどを審査、審議します。



副委員長
酒井 育子



委員長
物江 政博



小畑 博司



五十嵐 孝子



山口 享



五十嵐 一夫



青木 美貴子

議会運営委員会 (4人)

定例会の日程や本会議の進行手順、議会に関するルールなどを協議します。



副委員長
青木 美貴子



委員長
五十嵐 正康



物江 政博



高久 敏明

広報広聴特別委員会 (5人)

議会だよりの編集・発行の他、議会の広報広聴活動全般を担当します。



副委員長
目黒 克博



委員長
山口 享



佐藤 宗太



物江 政博



五十嵐 孝子

新庁舎建設検討特別委員会 (14人)

議員全員を委員とし、新庁舎建設に関する調査・研究を行います。



副委員長
酒井 育子



副委員長
目黒 克博



委員長
山口 享

議会改革特別委員会 (12人)

正副議長を除く12名を委員とし、議員報酬のあり方やその他諸課題の調査研究を行います。



副委員長
佐藤 宗太



委員長
横山 智代

監査委員 (1人)

行財政全般にわたり公正性、効率性などの観点からチェックを行います。



小畑 博司

会津若松地方広域市町村圏整備組合 議会議員 (2人)



水野 孝一



五十嵐 一夫

令和6年 第1回定例会

空き家の除却を促進！

例 空き家除却後の
条 固定資産税を軽減



空き家除却した後も固定資産税
が変わらなくなるように特例措置
を行い、空き家の除却を促進する
ものです。

ポイント

町内には400戸を超
える空き家が存在し、今
後も人口減少により更に
増加することが予想されてい
ます。

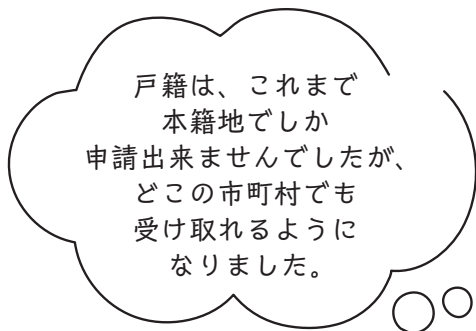
適正に管理されていない空
き家は、地域住民の不安や周
辺の環境に悪影響を与えかね
ません。

町は、新規事業として空き
家の除却補助や除却後の固定
資産税の特例措置を行い、危
険空き家を減らすことを目指
しています。

また、空き家の除却だけで
なく、改修費用や家財の撤去
処分等、幅広く活用できる補
助金も作り、空き家の有効活
用につなげます。

例 本籍地以外でも
条 戸籍交付が可能に

令和6年3月1日より本籍地以
外での戸籍謄本等の交付を可能と
するため、町で定める戸籍手数料
の改正を行うものです。



戸籍は、これまで
本籍地でしか
申請出来ませんでした、
どこの市町村でも
受け取れるよう
になりました。

例 会計年度任用職員に
条 勤勉手当支給

令和6年度より会計年度任用職
員に期末手当に加え勤勉手当が支
給されます。

定例会のあらまし

令和6年第1回定例会は、2月22日(木)～3月6日(水)に開催
しました。
1日目は提出議案の説明が行われました。2日目・3日目は9名の
議員が一般質問を行いました。
その後2日間予算特別委員会が令和6年度予算が審議されました。
最終日は議案の審議等をし、すべて原案通り可決しました。

例 監査委員報酬改正

福島県非常勤監査委員日額報酬
を基準として、監査委員の年額報
酬が引き上げられました。

反対

審議会の答申を受けて
の改正ではありませんが、
あえて反対します。
識見を有する代表監査委員
は大いに賛成し、さらに報酬
を上げるべきだと思います。
しかし、議員選出の監査委
員は、議員としての報酬もあ
り、むしろ下げるべきだと思
います。

山口 享議員

例 ばんげ保育所で
条 一時保育受入へ

里帰り出産や家庭保育の方が一
時的に家庭での育児が困難となっ
た場合に、ばんげ保育所で受け入
れ、子育てを支援します。

例 介護保険料決まる

第9期会津坂下町高齢者福祉・
介護保険事業計画策定に伴い、令
和6年度から8年度までの介護保
険料が定められました。

例 道路占用料・法定外
条 公共物の額改正

道路法施行令別表に定められた
占用料の額が変更されました。

その他 気多宮街なみ交流 センター譲渡

会津坂下町公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、街なみ交流センターが立地する気多宮区へ無償譲渡されます。



気多宮街なみ交流センター

Q 消防屯所など、今後も地区への無償譲渡というものが出てくるのか。その場合、除却する時の費用等はどのようなのか。

A 基本的に、集会所に類似する施設は地区へ譲渡する考えです。屯所など行政機能を果たしているものは譲渡の対象とすべきでないと考えています。

補正 事業費確定による精算

最終日、令和5年度の一般会計及び特別会計の補正予算が提案されました。

各会計とも事業費の確定による精算が主な補正内容でした。

(万円未満四捨五入)

一般会計		△ 3,120 万円
特別会計	国民健康保険	△ 3,962 万円
	介護保険	△ 6,123 万円
	後期高齢者医療	△ 101 万円
	下水道事業	△ 3,798 万円
	坂下東第一地区土地 区画整理事業	△ 2,169 万円
	農業集落排水事業	△ 114 万円



議員提出議案

発議第3号

会津坂下町子育て基本条例

発議第4号

会津坂下町子育て基金条例

令和5年第4回定例会に提出された子育てに関する議員提出議案は、文教厚生常任委員会に付託され、継続審査となっていました。委員会では、今定例会まで議論が重ねられてきました。

委員からは、「町民や関係者などたくさんの方からご意見を頂きながら議会でもより坂下町らしい最適なものを作るべきだ。」などという意見がありました。

委員会の採決の結果、賛成少数で否決されました。

本会議でも、委員長報告の後、採決した結果、賛成少数で否決となりました。

反対討論

子どもの権利条約を日本が批准して30年経つがまだその存在を知る人は少ない。発議された意義は大きい。条例を制定すれば良いのでは済まない。議員間の議論もほとんど無く、町民の方々や、子どもを含め、時間をかけての検討が必要である。 小畑 博司 議員

本案は、「こども基本法」同然で本町らしさが無い。立法プロセスに欠け、町民の関与や気配がななく生の声が聞こえてこない。文言を並べることが制定ではなく、子育てのビジョンが共有され、実践されねばならない。

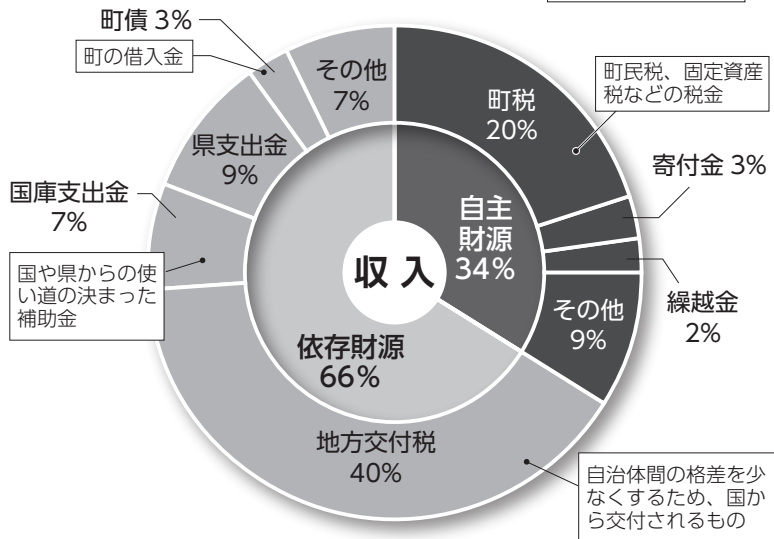
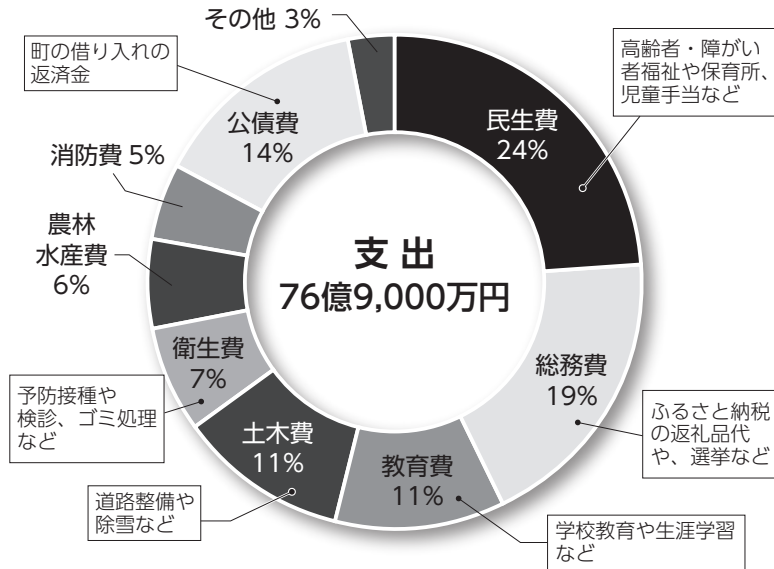
渡部 正司 議員

第一に条例立法プロセス。有識者をはじめ、子どもの保護者や地域住民、事業者など全体での検討が必要不可欠である。第一に内容。子ども基本法の文言を多用されているが、他の自治体のように理念をうたうのみならず子どもに関わる政策全般を具体的に進める条例であるべきだと私は考える。

佐藤 宗太 議員

予算を見れば 町の未来が見えてくる

令和6年度
予算



76億9千万円

一般会計

前年度から8千万円増

実施計画で「重点的に進めること」に示した事業を中心に、子育て・教育、健康づくり、福祉の充実、農業・商工業の振興のための予算となっています。

最重点事業である過疎対策事業では、新たに「空き家改修等支援事業補助金」および「空家等除却支援事業補助金」を整備します。これにより、移住者の住まいの確保や町内に400件以上ある空き家の解消を図ります。

特別会計

47億832万3千円

企業会計

16億3,495万円

その他の会計
令和5年度までの、農業集落排水事業特別会計と下水道事業特別会計が企業会計として一つになり、下水道事業会計となりました。今後は水道会計同様企業会計として管理されます。

会計		令和6年度予算	前年比
特別会計	国民健康保険	18億8,786万6千円	6,047万7千円 ^増
	介護保険	23億9,962万円	4,117万1千円 ^増
	後期高齢者療養	2億2,234万2千円	1,300万9千円 ^増
	坂下東第一地区土地区画整理事業	1億9,849万5千円	2,695万1千円 ^減
水道事業会計	収益的収入	4億9,921万4千円	904万1千円 ^増
	資本的収入	1億6,678万9千円	8,855万6千円 ^増
下水道事業会計	収益的収入	5億4,139万円	—
	資本的収入	4億2,755万7千円	—



物江委員長・五十嵐副委員長

予算特別委員会では、多くの質疑を行いました。主なものを要約してご紹介します。

予算 審査

町はどこにお金をかけ何を指そうとしているのか

中学校部活動地域移行について

議員

地域移行が進めば、他の市町村と合同の活動として交通費などが必要になる事も考えられる。その場合の考え方は。

課長

現時点では休日の活動を地域へ移行するという段階です。将来的には送迎にバスを出すなどの検討もしていかなければなりません。近隣市町村との協議も必要になると考えています。

議員

今後の保護者負担は出てくるのか。

課長

現在は移行期であるため、講師謝礼なども町で負担しています。今後地域移行の形が整ってくれば、保護者からの会費を集めることとなりますが、負担にならない程度に留める考えです。

新庁舎建設費業務委託の内容は

2,376万円

議員

委託の内容は。またこの委託によりどの程度まで煮詰まってくるのか。

課長

発注者支援業務であり、計画の策定に当たり専門的な部分を委託するものです。法令上の整理や環境配慮など専門的に行ってもらう予定です。また、段階的な委託となり、基本計画や入札に係る仕様書の作成などを行ってもらう事を考えています。

議員

アウトプットが見えてくるのはいつ頃になるのか。

課長

令和6年度は基本計画、基本構想を予定しており、年度内の完了を目指しています。



広告収入のアイデアは

議員 広報あいづばんげへの広告掲載はあるが、他自治体のように封筒などへ広告掲載をし、収入を確保する考えは。

課長 役場の封筒に限らず、公用車などへの広告の掲載など、可能性を含め検討していきます。

高寺山調査を

議員 高寺山の発掘にもっと力を入れられないのか。

課長 国の補助を頂いているため、毎年事業の要望を行い、許可を得て調査を行っています。少しずつでも補助がある限り続けていきたいと考えています。

預かり保育の給食費と学校の給食費の考え方は



議員 幼稚園の土曜日の預かり保育の給食費が値上げになると通知があったが。

課長 食材費の値上がりにより1食330円から340円に値上げとなりました。

議員 学校の給食費は物価高により値上げにならないのか。

課長 学校給食費の高騰分は町で支援しており、給食費の単価は前年同額と見込んでいます。

議員 その違いは。

課長 幼稚園の預かりは希望者のみの提供となっているため、考え方に違いがあります。

モニターツアーの 今後は

536万4千円

議員 モニターツアーをどのように活用していくか。また、委託先の選定方法は。

課長 参加者のアンケートの結果では好評を得ているようです。今後は「医・職・住」をより身近に体験できるよう、職業体験などを含めたツアーにしていきたいと考えています。

委託先は見積もり合わせにより選定しますが、坂下町のことを良く知っている業者をお願いしたいと考えています。



町ホームページを どうリニューアルするのか

466万7千円

議員 どのような方向でリニューアルをするのか。

課長 詳細にはこれから検討していきますが、より分かりやすい、見たい情報を見つけやすいように改善します。また、スマートフォンでスムーズな閲覧ができるようにします。さらに各種申請様式のダウンロードもできるように考えています。

国民健康保険特別会計 高額療養費



議員 高額療養費が増加しているが、その要因は。

課長 心疾患や脳血管疾患などが多く、治療のための手術が高額になる傾向にあります。また、新薬が保険適用となり、その使用によって高額な医療費が発生しています。

水道・下水道技術者の育成を

議員 技術者の育成が大変重要である。育成計画、研修等はあるのか。

課長 技術者の不足は全国的にも言われています。協定を結んでいる4事業体での技術連携に加え、県内での対応も想定していかなければなりません。採用も含め研究していきます。

下水道事業会計への移行

議員 企業会計へ令和6年度から移行になったが、わかりにくい。

課長 2事業が1つ会計になったため、わかりにくくなっています。まずは初年度という事もあり、1年間やってみて、随時わかりにくいところを改善していきます。



～令和6年度
会津坂下町一般会計予算～

賛成

一般会計当
初予算に賛成
します。
コロナ禍を
乗り越え、今もなお続
く物価の高騰は、町民
の生活を苦しめていま
すが、第六次会津坂下
町振興計画での最重要
事業、空き家対策の予
算措置、財政健全化、
住民サービス向上の予
算編成となっております、
評価いたします。
最善の行政運営を強
く要望します。

渡部 順子 議員



賛成

前向きな姿
勢が伺える予
算であり、評
価できます。

しかし、これから策定される地域計画には厳しい現実が立ちほだかっています。希望を見出すには、国へ強く求める行動が必要です。町長が先頭に立ち、町民とともに立ち上ることを期待します。

小畑 博司 議員

賛成

基盤産業発
展への工夫、
健康な生活、
安心や安全の
インフラ、学びの向上
など町民の笑顔が感じ
られます。保育料値上
げ分がしっかりと子供
らに還元する方策を含
め、町民との対話を重
ね、笑顔がはじける執
行を期待します。

渡部 正司 議員

賛成

「あたら
しまちづくり」
の2年目とし
て、各種事業

に取組む前向きな予算編成の姿勢が見てとれます。

最重要事業である「過疎対策」を中心に置き、実施計画の中で重点的に進める事業に示した、子育て・教育、健康づくり、福祉の充実、農業・商工業の振興の政策実現のために積極的に取り組む予算編成について、高く評価します。

蓮沼 文明 議員

反対

新庁舎位置
の結論を出さ
ずして、振興
計画・マスター

プランは語れません。庁舎は町の要であり、新庁舎位置の結論を出してから、第六次振興計画後期基本計画、都市マスタープランを策定すべきと考えます。

新庁舎位置は現庁舎周辺とする議決がなされている以上、議決に従い執行するのが為政者の務めであります。

本予算は既に議決済の執行を拒否した予算案であると言えるため、反対します。

五十嵐 一夫 議員



祝 自治功労者表彰受賞



2月26日、福島県町村議会議長会総会において、議会議員として16年間務めた渡部順子議員が、全国町村議会議長会より表彰されました。

定例会最終日の開会に先だち、議長より表彰状が伝達されました。

物価高騰対策
事業所を支援
1月16日に開催された第1回臨時会では、物価高騰対策として、事業所や運送業者などへの補助金支給などが打ち出されました。



第1回臨時会

請願

請願第1号

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願書

【提出者】 日本労働組合総連合会
福島連合会
両沼地区連合会
議長 檜山 洋明

【紹介議員】 小畑 博司 議員

本会議で採択され、意見書を送付しました。

能登地震被災地へ 義援金

全議員で構成する会津坂下町議会議員互助会から1月の地震で被害を受けた石川県へ、石川県議会議長会を通じて義援金5万円を送付しました。



私はこちら判断！

賛否の分かれた議案

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	目黒 克博	蓮沼 文明	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	佐藤 宗太	山口 享	青木美貴子	渡部 順子	五十嵐一夫	酒井 育子	小畑 博司	水野 孝一
議案第7号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び旅費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長
議案第13号 令和6年度会津坂下町一般会予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
発議第3号 会津坂下町子育て基本条例	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	議長
発議第4号 会津坂下町子育て基金条例	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。

○：賛成 ×：反対

議長は採決に加わりません。

議会を傍聴してみませんか？



手続きは簡単。
議場前の受付簿に名前を書くだけ！

【令和6年第2回定例会日程（予定）】

6月	6日(木)	招 集 日
	10日(月)	一 般 質 問
	11日(火)	一 般 質 問
	14日(金)	最 終 日

第2回定例会は議員改選後の初めての定例会です。

※日程は変更になる場合があります。

町政を問う！

一 般 質 問

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。

今定例会では9人が登壇しました。

広報誌に掲載する内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。

一般質問の映像を配信しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。



一般質問

また、会議録もホームページでご覧いただけます。



会議録

問 ①長い基礎杭（最長44m）が抜かれ、地盤をかきまぜ、安定を失った

問 庁舎位置として旧厚生病院跡地があげられている疑問

答 新しいまちづくりをしていくうえで重要な拠点として機能させていくことの方が重要と考えます。

問 旧厚生病院跡地に移転したら町有地となり、固定資産税の

答 この採決の人数は請願に対してのものではないので、その数を参考に他の議案に対する意思を決めることはありません。

問 令和5年6月議会、15年前の議決に基づき速やかに建設計画を実施するよう、町当局へ意見書を提出した請願が賛成6、反対7で不採択だった事の持つ意義について。この時点で庁舎位置を変更する議案が提出されたとするなら、賛成7で、3分の2を超える賛成9に満たず否決と捉えていいのではないか。



五十嵐 一夫 議員

新庁舎請願の賛否数の持つ意義
他の議案に対するものではない

答 庁舎位置として旧厚生病院跡地があげられている疑問

答 庁舎位置を確定しなければ、後期基本計画も都市マスタープランも策定できないのではないかと聞かれています。

問 ②跡地は厚生連と某会社と売買の約束がなされているが、約束はそのままなのか。

答 地質調査・地盤調査は、どの建設場所でも必ず実施します。



基礎杭が引き抜かれ地盤が不安定な、旧厚生病院跡地が新庁舎候補地でいいのだろうか？



横山 智代 議員

高齢者補聴器補助金を
福祉用具の対象ではないので
実施できません

問 高齢者の介護予防・認知症予防の為に補聴器購入への補助を検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 補聴器の購入は、後期高齢者医療保険の補装具給付や介護保険における福祉用具の対象とはなっており、聴力検査についても健康診断における聴力検査では加齢性難聴の確認までは出来ないため実施していないのが現状です。

高齢者の難聴は、加齢による体力低下等と同様に誰にでも起こりうる症状でありますので、地域全体でそれを理解し、受け入れ、みんなで支え合える地域社会や環境づくりが重要と考えます。



認知症予防に有効な補聴器

これも質問

園教員の長時間労働の実態について
園学校給食費の無償化について

ごみの排出量の削減はさらなる減量化・再資源化をはかって参ります。

問 可燃ごみ・生ごみ類の削減の現状と今後の取り組みを伺う。

答 令和5年度12月末現在で排出量は前年度実績を下回る排出量となる見込みですが目標排出量は及ばず、さらなるごみの減量化・再資源化を図って参ります。

廃棄物減量化推進補助金として、コンポスト、EMバケツ・生ごみ処理機等の購入費の一部を補助し生ごみ減量化及び生活環境の保全を図っています。

家庭から出る可燃ごみの約3割が生ごみで、各家庭で生ごみを減らすことが、ごみ減量化に対して大きな効果があります。今後も住民・事業者・行政で目標や課題を共有しながら、ごみの減量化と再資源化を推進して参ります。



蓮沼 文明 議員

「障がい福祉事業所」等の設置に
関する町の助成・支援等を伺う
様々な情報提供を通し、新たな事業所
の設置に向けた支援を行って参ります

問 「障がい福祉サービス事業所」等の「福祉作業所」設置に関して、町の助成・支援等を伺う。

答 「障がい福祉事業所」等の設置においては、令和6年度からの「障がい者総合支援法」の改正により、本町の意見が県の指定の判断に反映されるように十分に協議します。また、事業者へ補助金の制度の情報提供、および事業所の設置場所として利用可能な空き家や空き店舗の情報提供を行います。

住み慣れた地域で自分らしく生活ができる社会の実現のため、新たな事業所の設置に向けた支援を行って参ります。

空き工場の実態及び今後の
計画は

再調査を実施して、企業誘致につながる情報提供に努めます

問 当町で現在使用されていない「空き工場」の実態及び今後の取り組み計画について伺う。

答 町には、国道49号線沿線を中心にして「空き工場」が点在しており、海外から国内に生産機能を移す動きが全国的に活発化しており、更には運送業における2024年問題もあり、企業においては、すぐに利用できる「空き工場」に対する需要が高まってきていることから、その需要に対応するために国・県も市町村との連携強化を求めている。町としても、「空き工場」の物件について再調査を実施し、企業誘致につながる情報提供に努めて参ります。

これも質問

園ばんげびがし公園のインクルーシブ遊具導入の進捗は



導入がすすむ
インクルーシブ遊具



赤城 大地 議員

大規模災害にどう備えるのか

近隣市町村との連携を強化します

問 現在の町の防災計画では大規模災害には対応しきれないと思われる。今後、関係機関との広域的な連携や官民の連携が必要になると思われるが見解を伺う。

答 大規模災害が発生すると、ライフラインが遮断されてしまうことが想定されるため、生活必需品を備蓄しておくことが重要です。家屋倒壊等からの被災者の救出や被害を受けたインフラの復旧、瓦礫の撤去等の「人的支援」、けが人への対応や避難所での衛生管理のための「医療支援」、さらに携帯電話やインターネット環境が被害を受け、正確な情報を得ることができなくなった場合、早期復旧を図るための「情報通信支援」等が必要であり、町単独で全てに備える事は不可能であり

ます。このような状況は近隣市町村も同様であり町民の命と暮らしを守るためには、近隣市町村との連携はもちろん民間の企業とも連携を図ることが必要であると認識しております。今後は、会津地方振興局の協力を

得ながら近隣市町村の相互応援協定を締結できるよう、町としても働きかけてまいります。また、ひとつの対応策として手始めに、各市町村の備品を一カ所で保管しながら、緊急時に貸し借りができるようにクラウドシステム等を整備してまいります。

危機管理専門員を配置すべき
では
次年度より公安職経験者を
防災専門員として募集します

問 公安職や自衛隊の訓練を受けた者を危機管理専門員として配置することに意義を感じるが見解を伺う。

答 次年度の採用において、警察、消防、海上保安庁、自衛隊で

実務経験を5年以上有する者を防災専門員として募集することにいたしました。



警察、消防、海上保安庁、自衛隊で実務経験を5年以上有する者を防災専門員として募集することにいたしました。



目黒 克博 議員

今こそ災害に強いまちづくりを

自然災害に対処できる設備等の備えに努めてまいります

問 7地区でのおおの最も危険な箇所の把握と、その減災のための対応は。

答 自然災害の危険箇所については、本町のほぼ中心を横断する活断層「会津盆地西縁断層」や川西地区・八幡地区・若宮地区の山際における土砂災害、高寺地区の東松・洲走周辺での地すべり等が挙げられます。また阿賀川の堤防決壊があれば坂下地区・若宮地区・金上地区・広瀬地区・川西地区で浸水が想定されます。土砂災害については使用しなくなった池の用途廃止や撤去を進めるとともに、砂防ダムを設置して災害を防止してまいります。地すべりについては会津農林事務所に十数回にわたり対策工事を実施していただいております。

ことも必要と考えます。そのため過去の被災事例を教訓として、想定する災害に合わせ地域防災計画を見直して参ります。また様々な災害対応を庁内各職員で「誰が何を行うか」の業務分担が計画されています。



現庁舎の耐震性は？

問 災害時、対策本部が機能不全になった場合の対策は。

答 当町では災害対策本部の設置場所について、現庁舎が被災した事を想定し、中央公民館など第

二の設置場所を事前に設定しておく

これも質問

問 当町に足りない防災設備は何か
問 災害時の情報システムについて
問 視覚障がい者や車いす利用者など、災害時に支援を必要とする人たちの避難について



渡部 正司 議員

坂下は「話せる町」か

対話は必要不可欠です

問 『ブランド』化は賑わいや移住定住にも大きな貢献をもたらす。本町での暮らしの『ブランド』化(ブランドタウン)をどう考えるか。

答 「地域ブランドが確立される」ことは、町の持つ魅力が他地域と差別化され、町内外から評価されることを意味します。そのことは、地域への愛着や誇りを強力にし、持続的成長に繋がるものと考えます。町民が「やっぱりばんげがいい!」と思えるまちづくりそのものが、十分本町の独自ブランドになり得るものであると考えます。地域のブランド化は地域の存続をかけた取り組みです。

問 「話せる町」となって、「安心で住んで楽しくなる町」を願うが、住民と対話することの意義をどう捉えているか。

対話からどのような町づくりを進めていくか。

答 住民自治の原則に立ち、情報を共有し、共通の目的意識を持ち、対等の立場で互いの特性を活



町民との対話は進むか (役場屋上から望む)

かしながら地域課題に取り組むことが重要であるため、対話は必要不可欠です。あらゆる場面で直接対話をするのが「協働のまちづくり」であり、町の地域ブランド確立のための取り組みにも繋がります。その取り組みを積み重ねることで、町民の満足度が向上され、住みやすい、魅力あるまちづくりが進捗すると考えています。



小畑 博司 議員

希望もてる地域計画を

農業者をしっかり支えます

問 各集落の持続的な農業の将来像を話し合い、地域計画を策定することが義務化された。しかし、その中心となる担い手の皆さんは生産資材の大幅な値上がりや、燃料・電気料の高騰で赤字経営となり、生産意欲が失われています。担い手の皆さんと、それを支える周囲の方々が見いだせる地域計画の策定となるよう願っているが、考えを伺う。

答 各集落の実情に合わせ、担い手農業者の育成や、目指したい農業のあり方等を住民みんなで共有し、全集落を対象に地域計画の策定を進めてまいります。合わせて、意欲的な中小規模農家も重要な担い手として位置づけ、営農継続に必要な取り組み・要望を把握し、町独自の施策に反映させます。

さらに、策定した計画を基に、県や農業委員会、JA、土地改良区等と連携しながら町農業の持続・発展、そして農業・農地が持つ多面的機能の発揮につなげてまいります。

鳥獣害対策の拡大強化は
県の制度を柱に効果的な策を講じます

問 鳥獣被害対策実施隊の皆さんの献身的な活動により、人身被害には至っておりませんが、事態は深刻です。体制の拡大を含め、今後の計画を伺う。

答 被害は年々増加傾向にあります。県の制度を活用した地域ぐるみでの電気柵設置を柱に、市町村間の連携強化も含め、関係機関一体となってより効果的に対策を講じてまいります。

これも質問

固危機管理体制の確立について





佐藤 宗太 議員

**収益力強化に向けた産地の
取り組みは**
水田フル活用による農業収益
向上を推進してまいりました

問 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値向上及び収益力強化に向けた産地としての取り組みの進捗は。

答 幅広いニーズに応じた米づくりと高収益作物や土地利用型作物を組み合わせた、水田フル活用による農業収益向上を推進してきました。新規就農者におきましては、キウウリやブドウ等、高収益作物を経営品目として就農しています。

問 町内に埋設されている枯葉剤除去に向けた進捗は。

答 昨年、町として国への早期撤去の要望をいたしました。その後、林野庁において予算を確保し、昨年11月に水質調査を実施いたしました。環境基準値以内であるとの報告を受けております。



議会で視察した際の埋設場所

**インバウンド誘客に向けた
取り組みは**
「体験ができる少人数のツアー」
でインバウンド誘客につなげます

問 「世界一ロマンチックな秘境鉄道」などと紹介され、国内のみならず海外からも注目されている只見線沿線の環境整備の考えは。

答 町は、これまで美しい景観の中を走る列車が見られるスポットに関する調査を実施し「杉の踏切」や「会津坂本駅」など11カ所のビューポイントを選定いたしました。今後は、さらなる景観スポットの開拓を進め、本町の美しい只見線の風景をSNS等により情報発信することで町への誘客を図ってまいります。

これも質問

岡部活動地域移行の進捗は
岡部坂下高校体育館の利活用の進捗は



酒井 育子 議員

**第6次振興計画の中で
最重点施策とは何か**
地理的条件と生活環境の良さを活かした
人・暮らし・仕事づくりを進めます

問 超少子・高齢化の現状の中で移住定住や交流人口を10〜20年後を見据えた対策とは。

答 過疎対策を重点に移住定住推進協議会が主体となり、1に町の魅力を知ってもらい、2にオンラインを活用した町の暮らしの情報発信、3に子育て世代を町外への流出抑制と町外から住宅取得支援・結婚応援補助金等と合わせて安心して子どもを産み育てられる育児応援事業を推進して参ります。

福祉を向上させ「あたたかい町づくりを問う」
支援体制の確保には障がい児福祉事業所を充足させる事と
考えられる

問 日常生活を送るのに、様々な不自由を抱えた障がい者の現状は。また、県有地に児童福祉施設誘致を進め、障がい者の自立福祉工リアとする事を提案する。

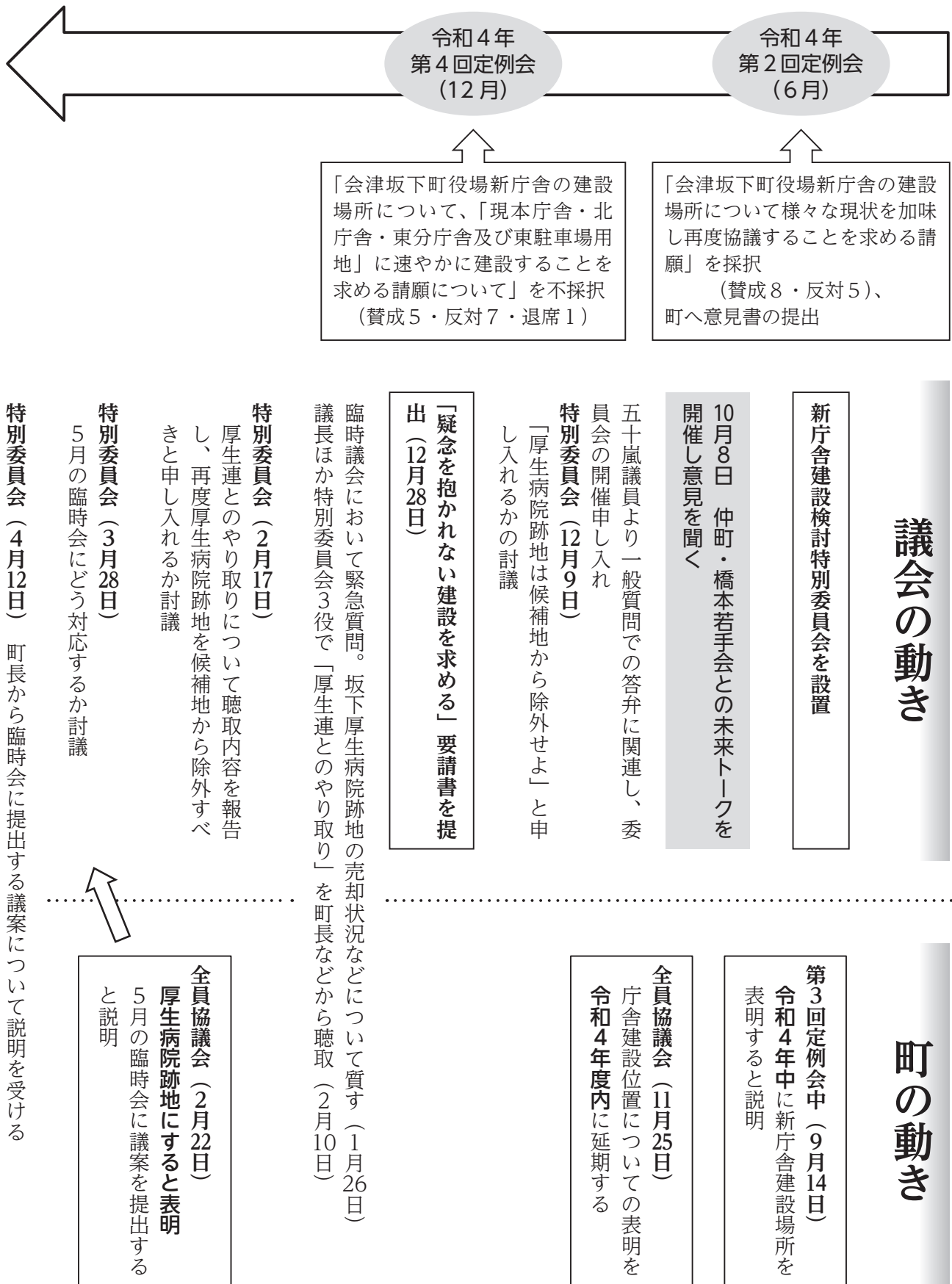
答 現在、身体障がい者手帳688人・療育手帳125人・精神障がい者手帳139人となっており、障がい福祉サービスを利用されている方には重度障がい者医療費補助などを受けている方は合わせて660人おります。
現在、町内に障がい児福祉事業所が2カ所ございます。障がいのある子どもの健やかな育成支援として体制の確保を図れるよう、進めて参ります。

これも質問

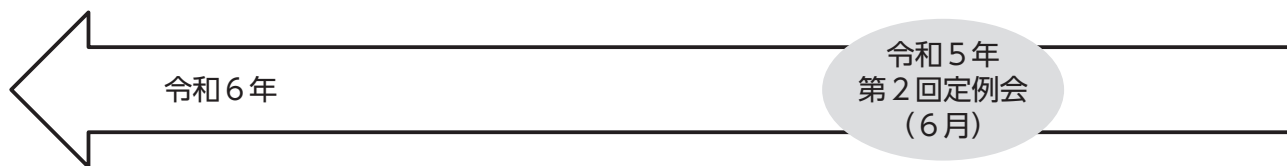
岡部坂下厚生病院跡地に文化交流館誘致を進めてはいかがか
岡部越後街道である北裏通りの整備進捗は
岡町民憲章推進の進捗状況は



町が進める庁舎建設について議会の見地から検討し提言するために
 令和4年6月に新庁舎建設検討特別委員会を設置し、議員間討議を重ねて来ました。
 議会として2年間の動きを改めてお知らせします。



役場新庁舎建設



現位置に建設することを、参考図面を添付し求めたもの

「新庁舎建設に関する請願」を不採択
(賛成6・反対7)

特別委員会 (5月29日)
町の説明を受け、議会の動きを伝えるため、町民懇談会を開催し説明をすべきか討議

5月29日、6月の議案提案を見送り、令和6年2月までに庁舎の位置決定する、と説明

特別委員会 (9月8日)
全議員と執行部の建設場所の決定時期について認識がずれており、説明を求める。また、他の庁舎建設の状況を見て研修すべきか討議

7月「新庁舎建設だより」で建設場所を令和6年9月定例会で決定すると周知

全員協議会 (6月16日) 建設場所の決定時期を含め、今後の進め方について説明

特別委員会 (11月9日) 認識の相違に対し、町から議会へこれまでの流れを再度説明

区長自治会長会との町民懇談会(未来トーク)開催 (11月17日)

特別委員会 (12月15日)
継続調査の必要性について審議。任期中に示せることを精査し、説明を求めることとした

「進捗状況などを示せ」と要請 (12月18日)

特別委員会 (1月16日)
「子育て世代アンケート結果」「現在の進捗」「どのような庁舎を計画しているか」の説明を受ける

MINNA NO HIROBA
みんなのひろば



導入に向け検討が進んでいる中学校の部活動地域移行。変わりつつある中学校の部活動について紹介しています。

今回は坂下中学校バドミントン部顧問の鈴木先生にお話を伺いました。



坂下中バドミントン部は、現在男子14名、女子19名、計33名で活動しています。

大半の生徒は中学生になって始めましたが、小学生の頃から坂下バンビィで練習してきた生徒が中心となり、切磋琢磨して練習に励んでいます。はじめのうちは技術に差がありますが、教え合いを通して2年生の頃になると、団体戦で同じ舞台に立てるまでになります。

おかげで昨年10月に行われた全会津新人バドミントン大会では、男子団体が優勝、個人戦では男子部長の湯田くんが県大会ベスト8、東北大会出場を果たすことができました。

こうした活躍の背景には、バンビィのコーチ

のみなさん、外部コーチ、大会といえいつも会場まで送り迎えをしてくれる保護者のみなさんのご指導ご支援があったからこそと感じています。部活動の時間に来ていただき、生徒への技術面のアドバイスだけでなく気持ちを高める言葉かけをいただいています。

生徒達には、バドミントンをやりたい、もっと強くなりたいという思いがあります。部活動が地域移行になる中でも、バドミントンを通して全身全霊で何かに打ち込むといった経験を積ませ、生徒一人一人が成長できるよう、向き合っていきたいと思います。



これからも学校と地域が協力しながら坂下中バドミントン部を盛り上げていきます!



バドミントン部顧問
鈴木 佳子 先生

- 広報広聴特別委員会
- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 山口 享 |
| 副委員長 | 目黒 克博 |
| 委員 | 五十嵐 孝子 |
| 委員 | 物江 政博 |
| 委員 | 佐藤 宗太 |

編集後記

本当に雪の少なかった今年の冬が終わり、春の暖かい日差しの中で、すべての植物が芽をつむいでいます。小さい背中新しいランドセルを背負い、目をキラキラと輝かせる、新1年生の姿も見受けられます。

広報広聴特別委員会のメンバーも一新され、読みやすい紙面、手に取っていただけの紙面づくりを心がける所存であります。

今年度は第六次振興計画後期基本計画を作成する年でもあります。

「人口が減少しても活力があり、町民一人ひとりが生きがいを持てる町」そんな町に少しでも近づけるよう、町議会は新体制の下、町民の皆様と共に努力していきます。

(山口 享)